

意思決定プロセスや実践・遂行の評価

社会情報科学部/情報科学研究科 円谷 友英

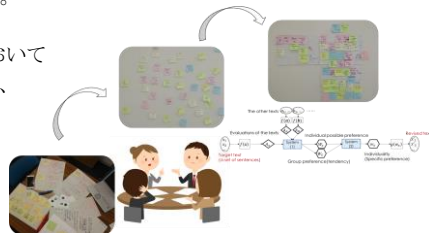


キーワード

意思決定、ファジィ理論、区間解析、オペレーションズリサーチ

研究概要

わたしたちと関わりが深い経営や政策の意思決定を工学や数学の視点から研究を行っています。日常生活のいろいろな場面で意思決定とその実践を自分自身でも自分たちでも行うことも、第三者によりそれが行われていく様子を目にすることもあります。そのプロセスや実践の評価において合理的で効率的であることがどこか当たり前になってきています。しかしながら、意思決定を行い、その先で行動したり恩恵を受けたりするわたしたち人間です。人はそういったプロセスや結論を理解することはできても違和感を抱くことがあり、それは実践や遂行に無関係ではないはずです。そこで、人間が関与していることによる測定しづらさやあいまいさを排除せずに取り込んで、意思決定プロセスや実践の現状そのままを見える化する評価手法の開発を目指しています。



アピールポイント

意思決定プロセスや実践や遂行の局面における科学的アプローチを支えることを目標にしています。効率化合理化一辺倒を疑い、何のために必要なかを問い直しながら、政策や経営を工学の視点から取り扱い、その先の人間の行動をデザインするまでを視野いれて取り組んでいます。

応用分野

経営や政策に関わる意思決定、グループ意思決定支援やグループワーク支援とその評価、作文など個性を活かす対象の評価や選好抽出など。